W2J

本科１期６月度2回目

Ｚ会東大進学教室

高２東大世界史

高２実戦演習１

【１】

次のＡ・Ｂの文章を読み，それぞれ⑴〜⑽の設問について〔　　〕内の語句から最も適切と思われるものを選びなさい。

Ａ　アテネの哲学者プラトンは民主政には批判的であった。プラトンは全ギリシアを二分したペロポネソス戦争がはじまってすぐの前 429 年頃の生まれとされる。ペロポネソス戦争は前 431 年から前 404 年にかけて行われたとされるが，プラトンは幼少期から青年期をその戦争の中で過ごしたと言えよう。その若きプラトンが見たものは正に民主政が，後に彼が書いたように「秩序も必然性もなく」うろうろとして混迷を極めていった姿であった。

プラトンが生まれる 70 年ほど前にアテネが⑴〔①サルデス　②デルフォイ　③ミレトス　④テーベ〕を中心としたイオニアの諸都市の反乱に加担したのをきっかけとして，ペルシア大王がギリシアに差し向けた大遠征軍を撃退したのがペルシア戦争であった。その勝利後，エーゲ海周辺の多くのポリスはペルシアの復讐に備えて⑵〔①隣保同盟　②コリントス同盟　③ハンザ同盟　④デロス同盟〕という軍事同盟を結んだ。アテネは，ペルシア戦争時に⑶〔①テミストクレス　②ドラコン　③ソロン　④クレイステネス〕の指導により拡充していた強大な海軍力を背景に，その同盟の盟主として国際的威信を高めていく。アクロポリスの聖域が整えられ，そこに荘厳で力強いドーリア式によるパルテノン神殿が建設されたのもこの頃の事である。また，軍艦の漕ぎ手として戦争に参加する⑷〔①無産市民　②有産市民　③第三身分　④ヘイロータイ〕の発言力が高まり，これを背景に将軍⑸〔①ペイシストラトス　②フィリッポス　③ペリクレス　④リュクルゴス〕の指導の下でアテネの民主政は完成したとされている。

⑸の提案で決められた法により参政権は両親ともにアテネの生まれである 18 歳以上の男子に平等に与えられた。その全体集会である⑹〔①アゴラ　②五百人評議会　③民会　④模範議会〕が多数決で国家の政策を決定し，将軍も選挙で選んだ。行政の担当をする役人は任期１年で抽選によって選ばれた。また同じく抽選で選ばれた陪審員が⑺〔①平民会　②陶片追放　③民衆裁判所　④宗教裁判所〕で多数決によって判決を下した。

さて，⑵によりさらに勢力を拡大したアテネに脅威を感じたのはペロポネソス同盟の盟主スパルタであった。アテネとコリントスの紛争を発端とし，全ギリシアをアテネ側とスパルタ側に二分して戦ったペロポネソス戦争がはじまった。ここにはアテネの民主政とスパルタの貴族政のイデオロギー対決があったとも評される。

当初優勢であったアテネだが，疫病の流行で⑸は戦争の二年目に病死してしまう。また，この疫病でアテネは約３分の１の市民を失ったが，その後，スパルタ軍との陸戦は籠城をもって避け，海軍でペロポネソスをつくという⑸の考えた戦略が功を奏し，前 425 年にはペロポネソス半島西岸のスファクテリア島の戦いでアテネは大勝利をおさめ，スパルタは島の陥落前にアテネに和議を申し入れる使者を送った。しかし，この有利に終戦を迎えることのできた大チャンスをアテネは逃してしまう。⑸亡き後，無責任な言動で民衆に迎合する⑻〔①ペリオイコイ　②デマゴーゴス　③ソフィスト　④ディクタトル〕と後に評されることになる

クレオンは，スファクテリア島の戦いで活躍していたこともあり，民衆の支持を得て主戦論を唱え，スパルタからの和議の申し入れをはねつけてしまうのである。やがてクレオンも戦死し，和平が成立するが，その和平を破ったのもまた，民衆の人気に後押しされた主戦派のアルキビアデスの主導による無謀なシチリア島遠征であった。その後，⑵からの離反も相次ぎ，前 404 年にアテネは包囲され，降伏することになる。

その流れの中でアテネの政治体制も揺れ動いた。戦争終盤では一度民主政が倒れ「400 人寡頭制」と呼ばれる体制に移るが，すぐに民主政に復帰し，敗戦後は親スパルタの「30 人寡頭制」が成立した。しかし，この体制も激しい内戦の末，民主政支持勢力に倒されてしまう。

再開された民主政下において，プラトンの師⑼〔①タレス　②ピュタゴラス　③ソクラテス　④ソフォクレス〕が若者を堕落させた罪で告発され死刑に処せられた。アルキビアデスや「30 人寡頭制」のリーダーであったクリティアスは⑼の弟子だとされており，背景にはそうした事情があった。敵の友は敵といった感情的な判断が⑼の悲劇を生んだとも言えよう。プラトンは民主政を批判し，哲学者や少数の優秀な選ばれた人間が政治をするべきだと説いた。またその弟子で，マケドニアのアレクサンドロス大王の教育係も務めた⑽〔①アリストファネス　②アリストテレス　③アリスタルコス　④セネカ〕は，どの国政にしろ最善の人々が治める国政が最善であると書いた。民衆は一時の感情に左右されがちで，時として好戦的にもなりうる。果たして平等な参政権を持つ民主政が本当に理想的な政治制度なのだろうか。

B　西ヨーロッパにおいて 16 世紀は，中世から近代へと歴史が変化していくうえで重要な出来事がさまざまに生じた時代である。

フランス国王の⑴〔①ルイ 13 世　②アンリ 4 世　③フィリップ 2 世　④フランソワ 1 世〕は，国内における王権の強化安定に腐心したことで知られる。1539 年の王令では公文書用語をラテン語や地域言語ではなく，フランス語に統一することを命じ，国家としての言語統一への道を開いた。他方，文学的才能にすぐれた姉マルグリット=ド=ナヴァールを持つ⑴は，文芸の振興にもみずから関心を示し，いわゆるルネサンスのフランスへの導入をはかった。多方面で才能を示してきた⑵〔①レオナルド=ダ=ヴィンチ　②ブルネレスキ　③ダンテ④ジョット〕をフランスに招聘しただけでなく，城館の建造などではルネサンス様式を導入させた。

その⑴が生まれた年は，たまたま⑶〔①百年　②三十年　③ファルツ　④イタリア〕戦争が始まった年に当たっている。この年のフランス国王シャルル 8 世による侵攻に端を発した戦争は，こののち長きにわたって断続的にヨーロッパ諸国を巻き込んで展開し，16 世紀半ばの⑷〔①カトー=カンブレジ　②アミアン　③パリ　④ロンドン〕条約によって一応の落着を見たのであった。⑴は，王位を継承するとただちにこの戦争に参戦し，おりからスペイン王位についたカルロス 1 世との対抗関係は，この戦争の主要争点となった。両王は神聖ローマ皇帝位を争ったが，結局カルロス 1 世が選出され，神聖ローマ皇帝カール 5 世として即位した。しかし，中世までと同様に宮廷を率いて多くの時間を戦陣で過ごした両王とも，⑷条約による講和までは生きてはいなかった。

両者の対立は，ヨーロッパにおける王朝間の覇権抗争という性格も帯びており，フランスの⑸〔①ブルボン　②オルレアン　③ヴァロワ　④カペー〕朝と，この時期にフランスをス

ペインとネーデルラント，(6)〔①オーストリア　②バイエルン　③スイス　④ザクセン〕という周囲から囲む形となったハプスブルク朝との対立である。この(3)戦争には西ヨーロッパの多くの勢力が関与して，同盟関係は複雑に動いた。そうしたなかで，外交官の相互常駐や情報収集など，近代の国家間関係につながるような動きが常態化していく。

この時期にはまた，おりからの宗教改革の動きが各地に強い影響をあたえ，(3)戦争の展開にも複雑にかかわっていた。(3)戦争にはローマ教皇庁も関与していたが，当初戦闘で優位に立ったフランス国王(1)は，1516年に，時のローマ教皇(7)〔①ピウス4世　②レオ10世　③パウルス2世　④グレゴリウス13世〕と協約を結び，フランス王国内における高位聖職者の指名権を確保することに成功した。メディチ家出身の教皇(7)は，膝下ローマにおけるルネサンス推進のパトロンとなり，その浪費によって教皇庁の財政を苦境に陥れたというが，教皇庁がその財政補助のためもあって販売した贖宥状などをめぐって(8)〔①カルヴァン　②ツヴィングリ　③ルター　④フス〕が激しく非難すると，(8)を破門したことでも有名である。しかしこの破門は，かえって教皇庁を批判する人びとの動きに勢いを与える結果となり，宗教改革の動きが一層本格化することにつながった。

カール5世は(3)戦争の状況から，(8)が牽引した改革派の動きを一時容認したが，状況が変わると一転してこれを弾圧する姿勢に転換した。(8)の教えを受容していた諸侯がこれに反発して抗議したので，のちに改革派はプロテスタントと呼ばれることとなった。1530年に彼らが結んだ(9)〔①アウクスブルク　②ミュンヘン　③ライン　④シュマルカルデン〕同盟は，カール5世の軍勢と一戦を交えたのである。改革派をめぐる宗教問題は，この時代から形を取り始める国家主権をめぐる問題，すなわち政治問題としての性格を帯びていた。この点は，イングランドにおいても明確であった。国王の離婚がらみで教皇庁と袂を分かったイングランド王国では，国王を首長とする(10)〔①長老派教会　②ピューリタン　③無教会派　④国教会〕をめぐるさまざまな動きは，まさに国家統治をめぐる政治問題に他ならなかったのである。

【2】

前近代の世界において，農業は経済活動の中でも重要な割合を占めていた。前近代の農業・土地制度に関連する以下の設問（問１～20）に答えなさい。

問１　文明のおこりと農業生産力の向上はしばしば密接に結びついている。さまざまな古代文明における農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　ナイル川の下流は「肥沃な三日月地帯」と呼ばれていた。
②　紀元前 1200 年頃, アラム人たちはダマスクス周辺に定住し専ら農業活動に従事していた。
③　アステカ文明では，鉄製農具を用いてトウモロコシなどの作物がつくられていた。
④　インダス文明を代表する都市の遺跡からは，穀物倉庫の跡が見つかっている。

問２　ポリス時代のギリシアの農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　アテネでは奴隷が農業労働力として用いられることは全くなかった。
②　スパルタではリュクルゴス制度と呼ばれる耕地制度が導入されていた。
③　スパルタではヘイロータイと呼ばれる隷属身分の人々が農業に従事していた。
④　アテネでは農民に市民権が与えられることはなかった。

問３　共和政ローマ時代の農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　共和政期を通じて，農民たちは政治に参加する権利を持っていなかった。
②　元老院議員たちはラティフンディアと呼ばれる大規模な農業経営を行った。
③　グラックス兄弟は，土地を無産市民に分配するという社会改革に成功した。
④　スパルタクスの反乱の中心は，困窮した農民たちであった。

問４　帝政期ローマ時代の農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　内乱と異民族の侵入が多発した３世紀にはプロノイア制が広まった。
②　皇帝コンスタンティヌスは，小作人（コロヌス）の移動を禁止した。
③　アクティウムの戦いに勝利し，穀物生産地シチリアを獲得した。
④　帝国領内に侵入したゲルマン人たちは遊牧生活を続けた。

問５　アフリカ大陸のある地域には，雑穀を栽培する農耕民と牛を飼う遊牧民が混住していたが，アラビア半島から移住してきた人々により，アクスム王国が建てられた。この王国の所在地として，もっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　ジンバブエ　②　エチオピア　③　リビア　④　ザンジバル

問6　ビザンツ帝国での農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　軍管区制がしかれた時期，小土地所有の自由農民が増えた。

②　ビザンツ帝国領内で盛んに行われていた養蚕業の技術は，6世紀に中国へと伝播した。

③　10世紀以降，貴族の大土地所有は見られなくなった。

④　ユスティニアヌス帝は，穀倉地エジプトをゴート人から奪回した。

問7　西暦1000年以前のイスラーム世界について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　後ウマイヤ朝支配地域では灌漑農業が発達した。

②　ウマイヤ朝時代，租税は全て貨幣で徴収された。

③　アイユーブ朝のエジプトでは，サトウキビの栽培が広まった。

④　ウマイヤ朝時代は，被征服民のみならずアラブ人にも地租（ハラージュ）が課せられた。

問8　ヨーロッパ中世の封建的主従関係について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　封建的主従関係とは，領主と農民達との間の契約関係を指す。

②　一人の人間が複数の主君と主従関係の契約を結ぶことが可能だった。

③　封建的主従関係の起源は，ケルト人たちの間で定着していた恩貸地制度である。

④　主君から封土を与えられた家臣の義務は，収穫物を上納することだけだった。

問9　ヨーロッパ中世の封建的主従関係との類似性がみとめられる制度は世界の各地に存在する。こうした制度について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　周代中国では，周王に軍役奉仕をなすことと引き換えに諸侯は一代限りの封土を授与されるという契約関係が統治の基盤だった。

②　鎌倉時代の日本では，周代中国の封建制度がそのまま導入された。

③　ビザンツ帝国では十字軍遠征と引き換えに貴族に土地の所有権を与えるエンコミエンダ制が導入された。

④　イクター制は，セルジューク朝の時期に西アジアに広く普及した。

問10　隋の頃の農民および土地制度について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　隋では均田制が採用された。

②　隋は府兵制を創始した。

③　租・調・庸の税制は隋が創始した。

④　李世民は農民たちを労働力として，大運河を完成させた。

問 11　内陸アジアの乾燥した地域においても，カレーズ（カナート）などを用いて灌漑を行うことにより，農業が営まれていた。こうした人口の水源や，自然に湧き出た水源の周りにはオアシス都市が建設された。中央アジアのオアシス都市の名称としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　エクバタナ　　②　ダマスカス　　③　タクラマカン　　④　クチャ

問 12　ヨーロッパ中世の領主制について述べたものとしてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　荘園では，森林を農民たちが利用することは禁止されていた。

②　領主の中には，自分の荘園の中に国王の役人が立ち入ったり課税したりするのを拒否する権利を持つ者がいた。

③　荘園内の農民達は同職組合としてのギルドを組織していた。

④　中世の農奴たちは，結婚や相続について領主の干渉を受けることはなかった。

問 13　ヨーロッパでは初期中世以来，寄進財産を集積した修道院が大領主となっていた。初期中世にはベネディクトゥスの戒律にしたがって生きる修道院が主流となっていたが，こうしたヌルシアのベネディクトゥスに連なる修道院について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　ベネディクトゥスの戒律は，修道士たちに清貧を求めていた。

②　ベネディクトゥスの戒律は，祈る人々と労働する人々を区別した。

③　ベネディクトゥスの戒律では，托鉢が重視された。

④　ベネディクトゥスはイェルサレムに修道院を開いた。

問 14　ヨーロッパでは 6 世紀以降，とりわけカロリング朝フランク王国の時代以降，カトリック教会は，自らの領地内から領主として取り立てるもののみならず，管轄する各教区を単位とし，収入を基準として，教区に属する人々から定期的に貢租を徴収した。この貢租の名称としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　十分の一税　　②　贖罪金　　③　地代　　④　人頭税

問 15　紀元 1000 年頃から，ヨーロッパ社会は安定と成長の時代に入ったと言われる。この頃の農業生産の拡大につながった技術革新について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　重量有輪鋤を牛馬に引かせる農耕法が広まった。

②　耕地を春耕地，夏耕地，秋耕地の 3 つに分けて活用する三圃制が盛んになった。

③　ジャガイモなど，ヨーロッパの気候に適した作物が栽培されるようになった。

④　『農耕全書』『天工開物』などの技術書がつくられた。

問 16　12・13 世紀には森林を切り開いて耕地を広げる動きが活発となった。「大開墾時代」とも呼ばれるこの時代に率先して土地開発を行った修道会としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　シトー会　　②　フランチェスコ会　　③　フス派　　④　イエズス会

問 17　14・15 世紀頃のヨーロッパ農村社会における変化について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　ドイツでは独立自営農民をヨーマンと呼んだ。

②　イギリスでは議会が第 2 次囲い込みを推進した。

③　領主たちは直営地を分割して農民に貸与し，生産物や貨幣で地代を納めさせることが増えた。

④　農民たちはもっぱら賃金労働者として農作業に従事するようになっていった。

問 18　中世ロシアの農業について述べた文としてもっとも適切なものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　モンゴル人の支配下に入っていた時期にロシアに普及した農具が「タタールのくびき」である。

②　キエフ公国では農民の農奴化と貴族の大土地所有が進行した。

③　キエフ公国は耕地拡大のためシベリアを征服した。

④　ロシアではコロヌスや農奴のことをコサックと呼んだ。

問 19　農業生産物は交易の中で商品としても扱われた。ヨーロッパ中世後半に，北ヨーロッパ商業圏ではハンザ同盟加盟都市などが海産物・木材・穀物などの生活必需品を取引していた。ハンザ同盟加盟都市に該当するものを次の①～④から一つ選びなさい。

①　アウクスブルク　　②　ミュンヘン　　③　ブレーメン　　④　ニュルンベルク

問 20　時禱書の挿絵など，絵画資料は，過去の農村社会や農民の生活について貴重な情報を我々に伝えてくれる。「農民の踊り」などフランドルの民衆や農民の日常生活を描いた作品を多く残した 16 世紀の画家としてもっとも適切な人名を次の①～④から一つ選びなさい。

①　ブリューゲル　　②　ゴッホ　　③　デューラー　　④　ホルバイン

W2J

高２東大世界史

Z-KAI

会員番号	

氏　名	

不許複製